

# 今季のスギ花粉情報 (第8報)

身近な自然と診療メモ  
(4/1/2021)

西東京市兼子耳鼻咽喉科兼子順男先生よりスギ花粉飛散数提供  
スギ花粉飛散開始日は2月6日、22日23日大量飛散があり、3月には  
はいり花粉数増加, 6日514個, 10日410個, 3月に**3293個/cm<sup>2</sup>** **総計**  
**4979個**となりました。ヒノキ花粉飛散開始日は2月15日、計793個飛  
散しました。3月21日雨・風を伴う猛烈な春の嵐があり、その後も繰り返  
しスギの雄花は激減しました。これからスギ花粉飛散は少なく、終息に  
向かっています。ヒノキの雄花は大量に残って

いますので、ヒノキ花粉症の患者さんは  
治療が必要です。この時期、寒暖差  
による鼻症状の方も多いです。

## <診療メモ>

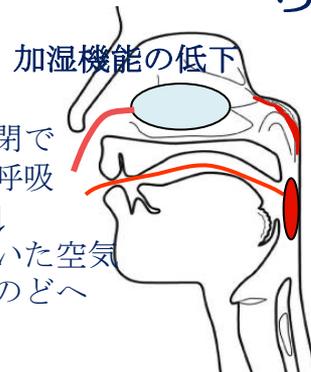
鼻粘膜が痛んでいる症例が  
多く認められます。鼻の粘  
膜が乾燥し易出血症例・鼻  
の加湿低下によるのどの乾  
燥症例、上咽頭炎も多くみ  
られます。

### 上咽頭炎

加湿機能の低下

鼻閉で  
口呼吸  
↓  
乾いた空気が  
のどへ

鼻の加湿機能低下により  
のどが痛い: 上咽頭炎を  
生じている患者さんも多  
いです。鼻処置後、上咽  
頭炎へのアズノール希  
釈液の点鼻は有効です。



(スギの木が緑になりました。雄花は残っていますが1週間前 비해激減しています。入間 3/31/24)

(ヒノキ入間 3/31)

(枝垂桜 入間 2021/3/31)

(ミツバツツジ 雄しべが5本)